

プロジェクトの実行手順

学習内容

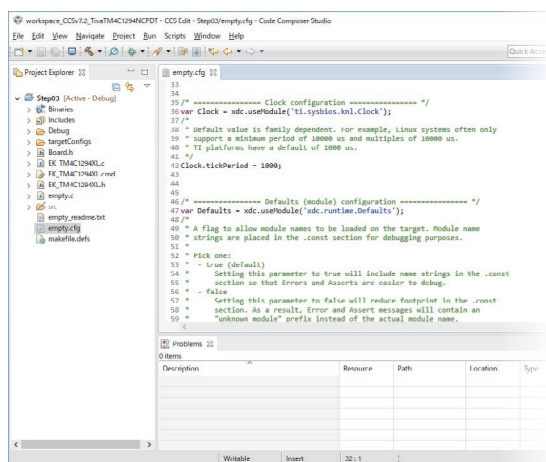
プログラムをマイコンボードに転送し、実行する手順を学習します。
プロジェクトの実行は以下の手順で行います。

1. ソースの記述
2. ビルド
3. デバッグ

1. OS の設定

前STEPで使用したサンプルプロジェクト「empty project」は、「empty.cfg」にOSの設定が書かれています。

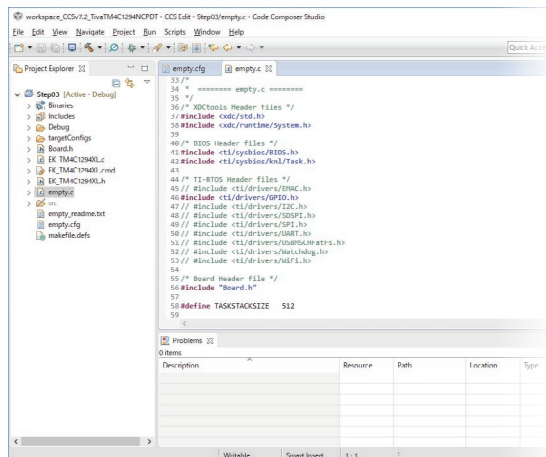
ここでは、この設定ファイルをそのまま使うことにします。



2. ソースの記述

「empty.c」にメインのサンプルソースが書かれています。

ここでは、このソースファイルをそのまま使うことにします。



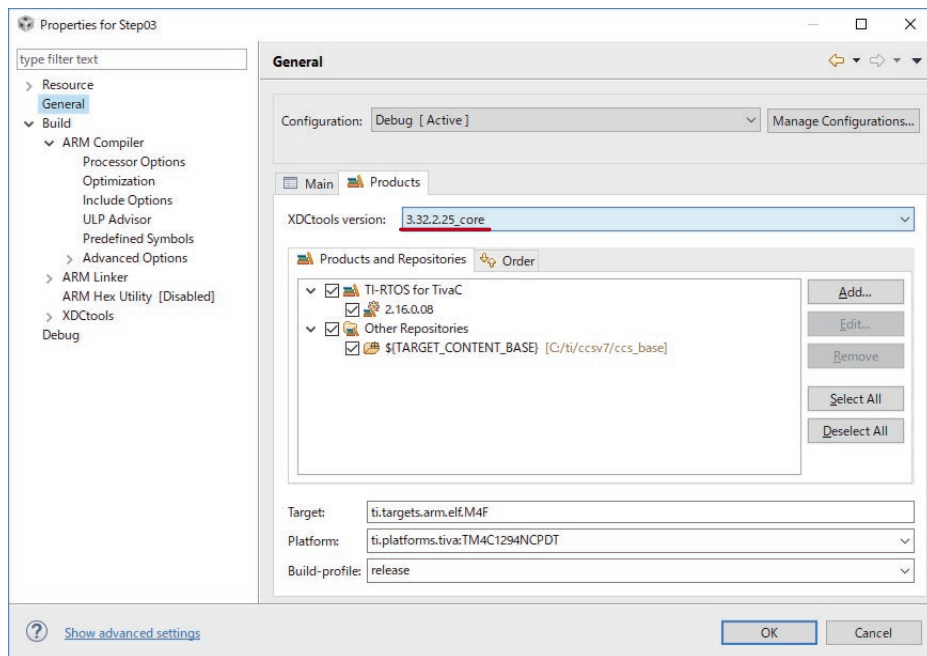
プロジェクトの実行手順

3. コンパイラ、リンカ等の設定

プロジェクトエクスプローラ上で現在のプロジェクトディレクトリを選択し、右クリックをして「Properties」を選択すると、コンパイラやリンカ等の設定を行うことができます。

ここでは、以下の設定を行う必要があります。


1. 「Properties」が開いたら、左側メニューで General が選択されているのを確認し、ウィンドウ右側から「Product」タブを選択。
2. 「Products」タブが開いたら「XDCtools version:」欄を「3.32.2.25_core※」に設定し、OK をクリック。



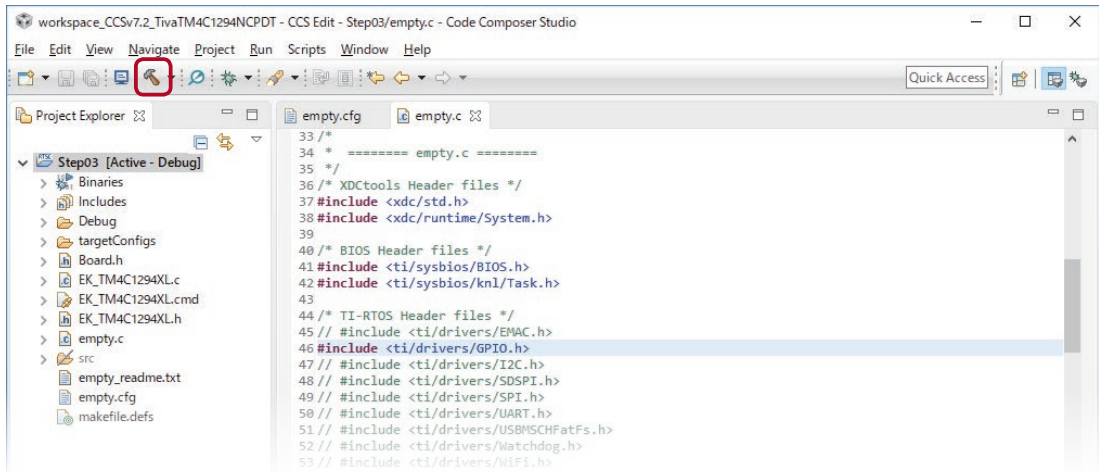
※ 「3.32.」以降のバージョンは変わっている場合があります。「3.32.*.*_core」を選択してください。

プロジェクトの実行手順

4. ビルド

ビルドアイコン  をクリックすると、ビルドを開始します。プロジェクトの初回のビルドには少々時間がかかります。

ビルド実行後、「Problems」欄にエラーが出ていなければビルド成功です。

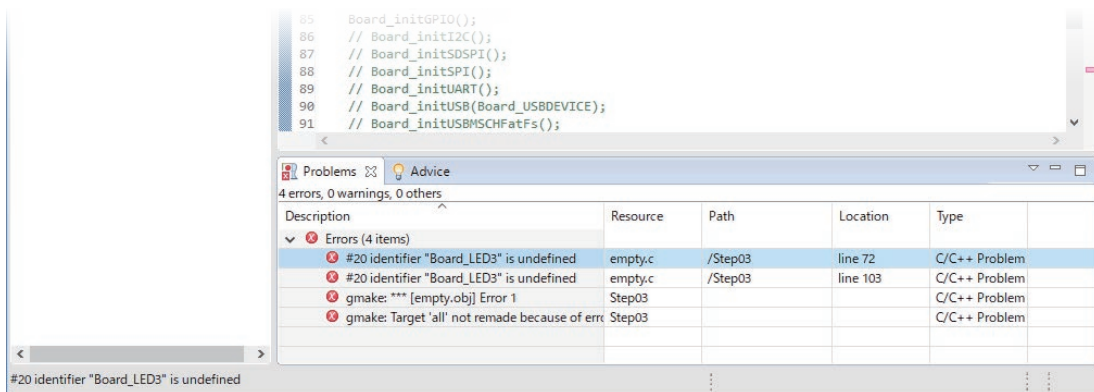


なお、状況によってはプログラムに問題が無いにもかかわらず（例えば、以前はビルドに成功していたにもかかわらず）ビルドに失敗することがあります。その場合は、プロジェクトエクスプローラ上で現在のプロジェクトディレクトリを右クリックして「Clean Project」を選択し、プロジェクトをいったんクリーンしてから再度ビルドを試みてください。

プロジェクトの実行手順

4. ビルド

ビルド実行後、ソースコードやリンクファイルにエラーがある場合は「メッセージ」欄にエラー内容が表示されます。エラー内容をチェックして、ビルドしてエラーが出なくなるまで修正してください。

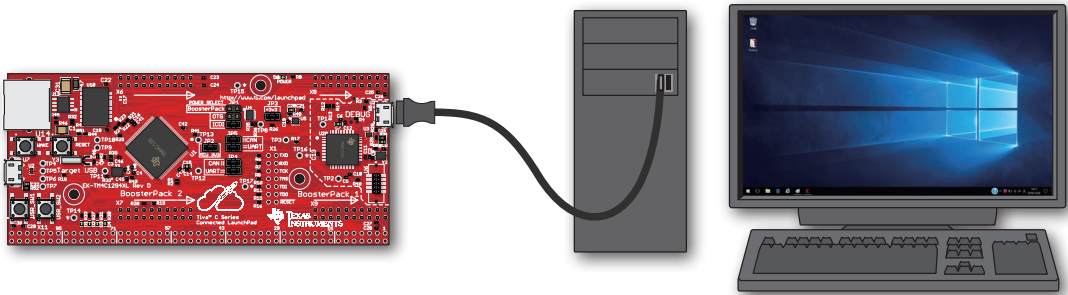



「メッセージ」欄のエラーをダブルクリックすると、ソース中の該当する行にジャンプします。

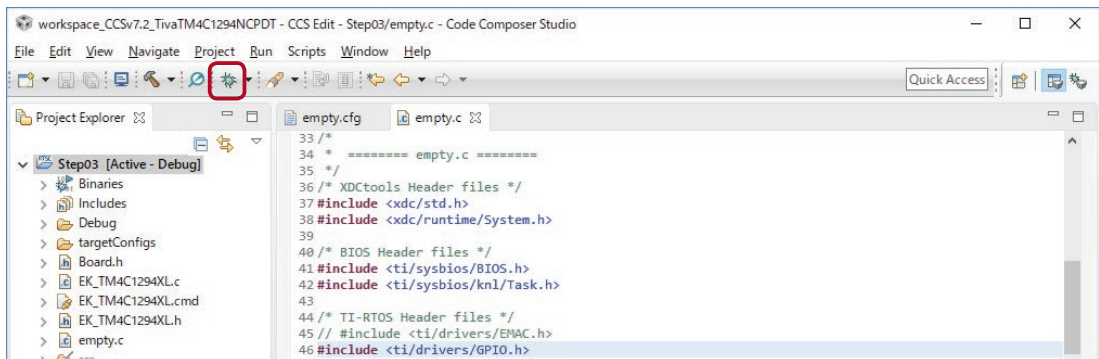
プロジェクトの実行手順

5. デバッグ

- 1 デバッグを実行するには、パソコンとマイコンボードが接続されている必要があります。以下の図のように接続してください。付属の USB ケーブルをお使いいただけます。





- 2 「Debug」アイコン  をクリックすると、マイコンボードへ実行可能ファイルが転送され、ウィンドウがデバッグモードになります。転送ダイアログが閉じると転送完了です。




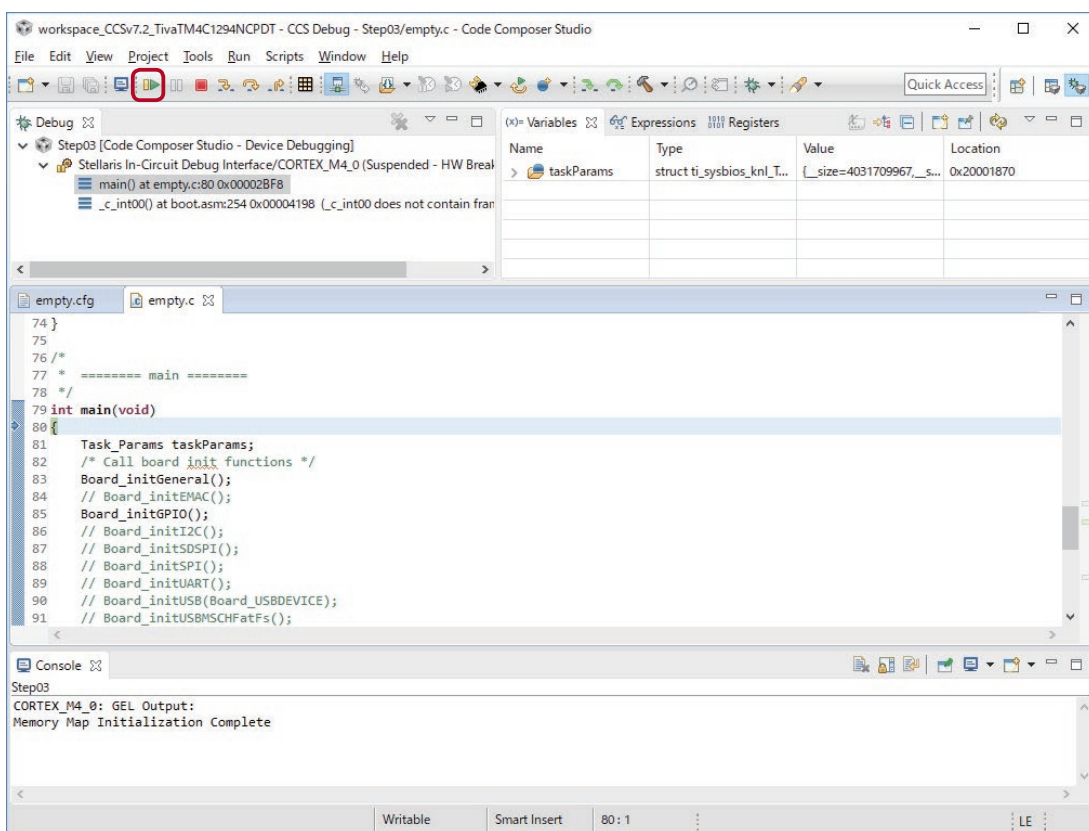
プロジェクトの実行手順

5. デバッグ

- ③ 転送後、プログラムを開始するには
Resume アイコン  をクリックします。

一時的に止める場合は
Suspend アイコン  をクリックするか、デバッグ > ブレーク を選択します。

デバッグを終了する場合は
Terminate アイコン  をクリックするか、デバッグ > デバッグの中止 を選択します。



- ④ 「Empty」のサンプルプログラムは、マイコンボードのLED1(D1)を1秒おきに点灯・消灯させるプログラムです。正しく動作していますか？

